

害者を虐待から守り、擁護者に必要な支援を行います。

小児慢性特定疾患児への支援として、日常生活用具の給付を継続し、経済的負担の軽減と日常生活の便宜を図ります。

精神保健福祉事業については、在宅精神保健の充実強化を図り、精神障害者の社会復帰を支援します。

自殺対策緊急強化事業は、自殺予防対策強化のため、ゲートキーパー養成講座等の開催を継続し、地域で予防活動を展開できる人材の育成に努めます。

また、平成24年1月より導入している臨床心理士を配置しての、町立や認可保育園及び認可外保育施設等を巡回しながら、就学前の早い段階から発達が気になる子に対して現場の保育士や保健師、そして保護者と相談・助言を行い、保育や育児への支援をしています。

6 「豊かで活力のあるまちづくり」について

(1) 農業の振興

本町農業の基幹作物であるさとうきびは、生産者の高齢化や担い手の減少及び台風による被害等、厳しい状況にあります。さとうきび増産を図るため、優

良種苗の普及や古株更新の奨励、病害虫防除、機械化の推進等に取り組みとともに、西原町さとうきび生産組合をはじめとする関係団体と連携を強化し、生産の向上に努めます。

園芸作物については、収益性の高い品目の栽培、品質の向上と安定出荷を推進するため関係機関や団体と連携を強化するとともに、農業施設補助金や農薬購入補助金等を交付し園芸農業の振興を図ります。また、毎年台風等による農作物の被害を解消するために、園芸施設の導入推進を図ります。

畜産業は、セリ価格が少しずつ回復の兆しは見られるものの、経営を取り巻く環境は、依然として厳しい状況にあります。そのような中、昨年11月に開催された県畜産共進会において、本町からの出品牛が優秀賞に選出されたのは快挙でありました。

また、山羊生産農家において、昨年1月に家畜人工受精師が誕生し、町の山羊生産振興に弾みがつきました。今後の生産拡大の推進に取り組みます。

町では、畜産農家の経営基盤の安定、体質の強化を図るため、優良種畜導入の補助や家畜予防注射などを実施するとともに、農家の所得向上を図るため、関

係機関の協力のもと、農家の飼育技術向上に取り組みます。

今後の農業振興にあたっては、遊休農地の解消及び担い手の育成・確保が重要であります。

現在、町耕作放棄地解消対策協議会及び農業委員会並びに関係機関連携のもと、(株)農業生産法人西原ファームにおいて、耕作放棄地が徐々に再生され農作物の生産に活用されているところで。引き続き耕作放棄地再生に向け取り組みます。

農水産物物流通・加工・観光拠点整備事業については、十分な議論を重ねたうえ設置場所や規模の検討を進めます。また、国の食と農林漁業の再生のための基本方針に基づき、人・農地プランを充実させ、新規就農者の育成に努めます。さらに、学校給食への地場農産物の利用拡大を含めた地産地消の推進を図り、地域農産物の消費拡大に努めます。

(2) 水産業の振興

水産業は、与那原・西原町漁業協同組合及び西原支部との連携を強化するとともに、漁業の生産性の向上及び安全確保に向け、水産奨励補助金を交付し、漁業の振興に努めます。また、より良い漁業の環境づくりのた

め、船だまり整備などの課題事項についても県と協議のうえ取り組みます。

(3) 林業の振興

森林は、国土の保全、水資源の涵養、自然環境の保全形成など、公益的機能を有し、地球環境や人間生活に重要な役割を果たしています。このような中、今年度は、施肥保育、雑草刈り、デイゴヒメコバチ防除、松くい虫被害木伐倒駆除など、自然環境の保全形成、森林の整備推進を図り、緑豊かなまちづくりに努めます。

(4) 商工業の振興

商工業の振興については、町商工会との連携を強化しつつ、6次産業化に向けた農商工連携の推進に努めます。

また、小那覇工業専用地域や東崎商業地域などへの企業誘致、企業立地に対する課税免除などを推進するとともに、地元企業への公共事業の優先発注、町産品優先使用など引き続き推進し、町内企業の育成を図ります。

県内の雇用情勢については、依然として深刻で厳しいものがあります。町としても、これまで雇用サポートセンター開所以来、町民の雇用機会の創出・拡

充を図ってきたところであり。今年度も引き続き、町商工会や関係機関、団体等との連携強化を図るとともに、町広報紙やホームページ等を活用し、求人・求職者の登録を行い、新たな雇用創出の確保に努めます。

観光振興については、本県の独特の歴史・文化と自然資源の魅力が相まって、国内有数の観光地として多くの観光客が訪れています。

本町においては、ゴルフ観光や西原マリントウン地域の海浜レクリエーション空間を活用しての、海浜スポーツイベントや音楽文化イベントで賑わって。今年度は、観光マップ、観光ポータルサイトなど活用したPRや商工会及び関係団体等



昨年11月に開催された「大型MICE施設
マリントウン地区誘致住民大会」

と連携を図り、国指定文化財

「内間御殿」など、町内の地域資源の発掘と活用、地場産品の開発に努めます。また、沖縄県が検討している大型MICE施設のマリントウン地区への積極的な誘致に努め、本町の更なる活性化と東海岸地域の観光拠点づくりを推進します。

(5) 道路網及び排水の整備

住民生活及び産業活動に不可欠な安全性と利便性を確保し、快適で住みよい生活環境の整備を図り、課題事項の道路・排水路整備を進めます。

今年度は、継続事業として小波津川北線・南線や兼久・仲伊保線、森川翁長線、東崎兼久線、森川3号線(橋梁架替)、我謝白川原線の整備に取り組みます。道路及び排水の維持管理については日常的な巡視を強化するとともに、道路ストック総点検の中で老朽化した土木施設の修繕計画を立てていきます。

また、洪水の防止・防災対策の強化に向けて、小波津川ハザードマップの作成や雨水利用促進助成を図るとともに地域の安全・防犯を強化するため防犯灯の拡充を図ります。

国、県事業については国道329号与那原バイパス(西原区

間)や県道浦添西原線、同那覇北中城線事業、小波津川河川改修事業を連携して推進します。

(6) 都市基盤施設の整備

アメニティー豊かな都市空間の形成を確立するため、土地利用の誘導を図るとともに、引き続き市街地整備や道路、公園、下水道整備など、重点的に整備すべき施策を効率的・効果的に推進します。今年度は、小那覇マリントウン線沿道用途地域変更、東崎準工業地域地区計画決定、シンボルロード都市計画決定及び引き続き西原町景観計画策定に取り組みます。

マリントウン地区では、西原きらきらビーチ、東崎公園、東崎都市緑地が多く町の内外の利用者で賑わっています。さらに町内外からの集客や観光客を誘引するため、隣接する商業用地の早期処分を積極的に推進します。

公園事業については、都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業を活用し遊具等の更新、改築に取り組み、公園の維持管理に努めます。

上原棚原土地区画整理事業については、今年度は換地処分の公告に向け、新地番や清算金等の説明を地権者に行います。

西原西地区土地区画整理事業

については、引き続き、建物など物件補償や工事関係機関との連携及び関係地権者の協力を得ながら事業の推進に努めます。

県都市モノレール事業については、町も連携して推進を図り、周辺土地利用の検討に取り組みます。

7 おわりに

平成26年度の各予算については、申し上げました諸施策事業などを中心に編成しています。

(一) 内の数字は対前年度当初比率です。

(1) 一般会計歳入歳出予算案
11,708,000千円 (Δ73%)

(2) 国民健康保険特別会計歳入歳出予算案
4,862,101千円 (18%)

(3) 介護保険特別会計歳入歳出予算案
1,933,676千円 (100%)

(4) 土地区画整理事業特別会計歳入歳出予算案
540,267千円 (23%)

(5) 公共下水道事業特別会計歳

入歳出予算案

755,620千円 (Δ28%)

(6) 後期高齢者医療特別会計歳入歳出予算案
201,136千円 (6.9%)

(7) 水道事業会計予算案については、収益的収入943,550千円、収益的支出891,762千円、資本的収入23,842千円、資本的支出125,958千円で資本的収入が資本的支出に対し不足する額102,116千円については、損益勘定留保資金等で補てんします

なお、各種施策の具体的な事業は、主要事業として別紙にまとめますので、予算案と併せてご参照ください。

以上、平成26年度の町政運営の基本姿勢及び主要施策の概要並びに予算案について申し上げますが、議員各位並びに町民皆様のご指導ご協力をお願い申し上げます。

平成26年3月4日

西原町長

上 間 明



町花木サワフジ (さがりばな)



町木ガジマル



町花ブーゲンビリア